

# ～ 令和5年度 学校評価アンケート結果 ～

※グラフは左から①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わないを選択した人の割合



### 【評価アンケートより】

全体的に見て、児童、保護者の評価に比べて、学校の評価がよくなっています。これは、児童、保護者が個人の様子を見て評価をしているのに対して、学校は子どもを個々ではなく、集団として捉え俯瞰して評価した結果となっているためです。

3者ともに①そう思う ②だいたいそう思うを合わせた割合が8割以上と高評価となっているのが、「1学校の勉強」「3自分で持ち物」「7元気に登校」「11休み時間いっしょに遊ぶ友だち」「14交通ルール」「15生活や遊びのきまり」「16学校の道具や遊具の使い方」「17地震や家事・不審者」「18学校のことで心配相談」「19感染防止」「20学校のことについての成長」です。3者において8割には達していないものの、昨年と比較して大きく伸びたのが「2友だちの意見」「9体育の時間が好き・努力」です。一方で、課題となるのは、「5本が好き」「8あいさつ」です。読書については、本が好き、読書が好きになるような、興味をもつような取組を引き続き行っていくとともに、あえて読書に親しむ時間を確保していくことが必要であると考えています。また、あいさつについては、あいさつの効果やよさを子どもたちが感じる学習を導入するとともに、積極的にあいさつのできる環境や雰囲気づくりにも努めていきたいと考えています。「5本が好き」「8あいさつ」「13そうじ一生懸命」の項目においては、児童、学校と保護者の回答で大きな開きが生じています。これは、学校ではこれらの項目内容を集団で、また指導や指示、促しのもと取り組んでいることが原因として挙げられます。

ただ、「1学校の勉強」「2友だちの意見」「3自分で持ち物」「4自分で計画」「7元気に登校」「11休み時間いっしょに遊ぶ友だち」「18学校のことで心配相談」においては、高評価ではあるものの、その一方で学校の勉強がわからない、悩み事を相談しづらい、学校が楽しくないと感じている子も一定数いることは確かです。そういった子どもたちをきちんと把握し、見守ったり個々に対応したりしていくことが重要であると感じております。職員一同、進んでいろいろなことに挑戦していける児童の育成を目指して教育活動を進めてまいります。引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願いたします。